

# モニタリング結果報告書 (令和元年度)

## 1. 施設概要

施設名	愛名やまゆり園		
所在地	厚木市愛名1000		
サイトURL	<a href="https://www.kyoudoukai.jp/">https://www.kyoudoukai.jp/</a>		
根拠条例	神奈川県立の障害者支援施設に関する条例		
設置目的(設置時期)	障害者総合支援法第5条第11項に規定する障害者支援施設		
指定管理者名	社会福祉法人かながわ共同会		
指定期間	H28.4.1 ~ R8.3.31 (2016年) (2026年)	施設所管課 (事務所)	障害サービス課

## 2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>利用状況はA評価、利用者満足度はS評価、収支状況はB評価となったことから、3項目評価はA評価とした。</p> <p>ただし、元園長が逮捕される事案や自治体により利用者への虐待が認定された事案が発生したことから、県は、利用者の支援の状況等について随時モニタリング等を行った。指定管理者には、勧告した事項の改善に取り組むことで、利用者やその御家族の信頼回復に努めるよう求めている。</p> <p>県としては、随時モニタリング等を通じて、利用者支援の内容を把握するとともに、改善状況を確認しながら、必要な指導を継続していく。</p>	
<p>&lt;各項目の詳細説明&gt;</p> <p>◆管理運営等の状況 重度重複障害、行動障害、医療的ケアの専門的支援を行い、加齢児1名の受入れと被虐待者2名の継続支援を短期入所で実施した。また、加齢や障害の重度化に伴う寮編成や生活環境等の見直しを実施した。また、利用者支援について、浮上した課題に対する今後の対応策として、園内で検証委員会が設置され、第三者も構成員として入っていた中での検証を始めた。 ガス・コージェネレーションシステム稼働による経費削減の見極めを行っている。ガス・コージェネレーションシステムとは、ガスを使用し電気とお湯を作り出すシステムのことであり、ガソリン等の価格変動が大きな原料ではなく、比較的価格が安定しているガスを使用することにより経費削減を行う。</p> <p>◆利用状況 対前年度比102.3%となり、定員を超えて受入れを実施したため、A評価となった。</p> <p>◆利用者の満足度 ①利用者の満足度調査において、上位2項目（満足、どちらかといえば満足）の回答が91%のため、S評価になった。 ②アンケート調査を101件配布し、73件回答があり、回答率は72.3%であった。（白紙回答6件を含む） ③利用者家族を対象に満足度調査を実施。「満足」の減少が見受けられ、「どちらかといえば不満」「不満」の回答が昨年より3件増えた。</p> <p>◆収支状況 収支に関しては、94,834千円の赤字、収支比率は91.82%となり、B評価となった。理由としては、法人本部への繰り入れ（津久井やまゆり園で採用する職員の給与積立金&lt;約1億円&gt;）が主な要因であった。</p> <p>◆苦情・要望等 6月11日、利用者から9日の夜間に職員からホットケーキとアイスが無理やり食べさせられたと訴えがあった。本人はホットケーキ3枚とおにぎり位のアイスと言い、対応した職員は本人の要求により少量を食べさせたと言い、利用者の訴えと対応職員の主張に違いがあった。※以下事故・不祥事等でも同内容を記載。</p> <p>◆事故・不祥事等 上記6月11日の件について、8月1日に園から報告があったため、8月8日に県障害サービス課が利用者及び職員へ聞き取りを行った。（10月28日以降、随時モニタリング実施）8月1日まで通報が遅れたことを指摘した。その後、厚木市の職員への聞き取りにより令和2年1月9日に虐待認定された。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 特になし。</p>	
3項目評価	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要
A	※3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう

### 3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	無	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	①令和元年8月8日 ②令和元年10月28日～ 令和2年1月9日（複数回実施）	①園から虐待疑い事案の報告があったため、現場に赴き聞き取りを実施した。 ②元園長（元法人理事）の逮捕により、施設運営の適正性等を確認するため随時モニタリングを実施した。
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	有・無	指導・改善勧告等の内容
		調査継続中 ＜概要＞ 愛名やまゆり園元園長が逮捕された事案を受け、同園のガバナンスについて確認した。また、同園において不適切な利用者支援が行われているとの県に寄せられた情報について、実態を把握するためにヒアリング及び書類調査を実施した。 なお、今回の随時モニタリングでは、同時に、障害者総合支援法に基づく特別監査を実施した。

### 4. 管理運営等の状況

[ 指定管理業務 ]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
利用者本位の支援	重度重複障害、行動障害、医療的ケアの専門的支援を行い、加齢児1名の受入れと被虐待者2名の継続支援を短期入所で実施した。 また、加齢や障害の重度化に伴う寮編成や生活環境等の見直しを実施した。	個々の個別支援計画へ反映し支援につなげる。
地域貢献とともに生きる社会の実現	地域における利用者のニーズ対応に努める。	地域における短期利用者の対応に努める。
人材の育成、確保と職員の処遇改善	支援の専門職の育成と働きやすい職場づくりとして、外部有識者を招き、年8回コンサルテーション事業を実施した。	強度行動障害支援者研修の積極的参加と喀痰吸引等の研修の継続実施
園の安定的運営	省エネ対策の推進	ガス・コージェネレーションシステムの稼働による経費節減を見極める。

[ 参考：自主事業 ]

事業計画の主な内容	実施状況等

## 5. 利用状況

評価	≪評価の目安≫ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。
A	社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。

	前々年度	前年度	令和元年度
利用者数※	36,217	36,085	36,899
対前年度比		99.6%	102.3%
目標値	36,500	36,500	36,600
目標達成率	99.2%	98.9%	100.8%

目標値の設定根拠： 社会福祉入所施設であり、目標値の設定が困難であるため  
入所定員×365日で設定（元年度は366日）

利用者数の算出方法（対象）： 施設入所者の延べ人数（定員100名）

（令和元年度から定員数に延べ日数を乗じた目標値へ変更）

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

## 6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	定期調査、簡易調査	年度後半に家族会等に調査票を配布（欠席者には調査票を郵送し回答を依頼）満足、やや満足の回答が91%であったが、一方で、人材育成への課題が伺えた。

[ サービス内容の総合的評価 ]

質問内容 当園で利用者が生活していることについて、ご家族として満足していますか

実施した調査の配布方法 直接配布・郵送 回収数/配布数 73 / 101 = 72.3%

配布(サンプル)対象 施設利用者の家族

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答が あった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	32	29	4	2	67	6件は回収したが無回答だった。
回答率	47.8%	43.3%	6.0%	3.0%		
前年度の回答数	39	25	3		67	
前年度回答率	58.2%	37.3%	4.5%			
回答率の 対前年度比	82.1%	116.0%	133.3%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

## 7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
B	

[ 指定管理業務 ]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	280,798	736,334	10,178		1,027,310	1,027,310	0	
	決算	269,207	753,985	12,076		1,035,268	983,493	51,775	105.26%
前年度	当初予算	280,798	752,834	7,717	備考欄参照	1,041,349	1,041,349	0	
	決算	278,695	768,012	17,076	備考欄参照	1,063,783	1,021,435	42,348	104.15%
令和元年度	当初予算	281,055	746,731	8,204	備考欄参照	1,035,990	1,035,990	0	
	決算	281,055	771,642	11,986	備考欄参照	1,064,683	1,159,517	-94,834	91.82%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

令和元年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

平成30年度

当初予算		決算	
経常経費寄付金収入	1,000	経常経費寄付金収入	4,442
受取利息配当金収入	1	受取利息配当金収入	2
その他の収入	6,716	その他の収入	12,632

令和元年度(平成31年度)

当初予算		決算	
経常経費寄付金収入	1,000	経常経費寄付金収入	2,253
受取利息配当金収入	1	受取利息配当金収入	2
その他の収入	7,203	その他の収入	9,731

8. 苦情・要望等  該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件		
	件		
職員対応	3 件	①短期利用者、帰宅後オムツのパットが着いていた。普段は使用していないので、着けないでほしいと要望があった。 ②事故・不祥事等で報告をしている6月9日の件について、利用者から苦情があった。 ③帰宅した際に、右側頭部に500円程の痣があると連絡があった。	①家族の要望、注意事項等を聞き取り、申し送り事項に必ず記録を残し周知することとした。 ②厚木市より虐待認定を受け、法人として検証委員会を立ち上げるなど対応を行っている。 ③本人帰宅前の様子を説明し、謝罪した。
	件		
事業内容	件		
	件		
その他	1 件	近隣住民よりグラウンドの草刈りの騒音、砂埃に対する連絡があった。	すぐに草刈りを中止し、次回より近隣住民への事前周知を行うこととした。
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等 □ 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
6月9日	① 6月11日利用者から6月9日の夜間にホットケーキとアイスが無理やり食べさせられたと訴えがある。本人はホットケーキ3枚とおにぎり位のアイスと言い、対応した職員は本人の要求により少量を食べさせたと食い違いがある。 ② 8月8日当課が調査のため訪問し、利用者及び職員へ聞き取りを行う。10月28日以降随時モニタリングを実施。 ③ 9月9日秦野市より虐待行為とは認められないが改善を要すると判断され指導があった。1月9日厚木市より虐待認定される。 ④ 8月1日まで通報が遅れたことを秦野市より指摘される。厚木市の職員への聞き取りにより虐待認定される。 ⑤ 食事量に制限がある利用者への支援方法が統一されていなかった。 ⑥ あり（令和2年1月21日）
10月16日	① 7月29日園長から法人事務局に刑事事件になるようなことをした旨の報告があった。 ② 7月29日法人事務局から当課へ電話で報告があった。8月26日当課職員が現地調査を実施。 ③ 電話及び定例の法人打合せ等により速報や状況報告をうけ、裁判の動向を確認する。 ④ フォームメール等で組織としてのガバナンスや人事考課についてご意見をいただく。 ⑤ なし ⑥ あり（令和元年10月16日）
1月8日	① 廊下でうつ伏せになっている利用者を確認する。 ② 電話による速報後、事故報告書により内容を確認する。 ③ 入院治療を行う。見守りなど強化している中での事故。見守りの位置などを再確認する。現在は経過良好。 ④ なし ⑤ 突発的に動いたりすることで尻もちをつく様子が確認されている。環境設定をしているが、本人の行動範囲も広いため見守りが難しい環境でもある。 ⑥ なし
1月30日	① 1月中旬にトイレに行きたいという視覚障害の利用者の背中を職員が突き飛ばし、転倒した姿を見て職員が笑っていたという内容の通報が厚木市権利擁護センターに入った。 ② 1月30日電話による確認があった。 ③ 大和市による聞き取り調査が2月3日より行われる。大和市職員により本人に傷がないことを確認。 ④ なし ⑤ 3月24日虐待行為の事実はなかったと大和市より報告を受ける。第三者が見た際に誤解を受けないように支援をしてほしいとのこと。 ⑥ なし

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。